

令和3年度 都城市立山田中学校「学校評価及び改善計画」

目標	評価項目	生徒評価	保護者評価	職員評価	総合評価	現状分析	次年度に向けての改善策	学校運営協議会の意見
学力の向上	基本的学习習慣	3.3	3.0	3.3	3.1	○ 基本的な学習習慣に関しては、学習委員会の毎月学習態度向上週間などの徹底に向けた組織的な取組によりかなり改善してきた。生徒・保護者とも指導されていると感じている。 ○ 授業の工夫に関しては、生徒・職員の95%がおおむね良好を感じており、わかりやすい授業の工夫がなされている。 ○ 個に応じた指導に関しては、生徒の95%が「分かる、できる」手立てがとられていると回答している。 ○ 家庭学習に関しては、頑張っている生徒も多いが個人差も大きい。学力差にも現れており、家庭への協力をさらに促す必要がある。今後、ICT活用による学びを家庭・学校間で積極的に推進していかたい。 ○ 家庭での学習の仕方に関しては、生徒と保護者の間で、生徒の家庭学習の様子を保護者が知らない場合など認識に違いがあると考えられる。また、英語検定、漢字検定、数学検定への挑戦者がかなり増えてきて、成果も上がってきている。	○ 学習態度向上週間の取組がマンネリ化しないように、学習委員会へアドバイスを行いながら、支援・指導を継続していく。 ○ わかりやすい授業をしていくためには、研究授業と相互参観を実施し、日々の授業改善に努める。さらに、授業改善の4+4のチェックポイントを活用して、より一層わかりやすい授業になるように努める。 ○ 継続して生徒の諸テストなどの評価を分析し、生徒の実態を把握して指導に役立てていくように努める。 ○ メディアを活用した家庭学習の仕方を家庭・学校間で共通理解していく講習会等を設定し、積極的に推進する。 ○ 家庭でどのように学習しているのかを、学級通信やディリーライフ等を通して保護者と連絡を取り合うことで、子どもの家庭学習への保護者の意識を高めていきたい。また、英検、漢検、数検の紹介を積極的にしていく。	○ 授業態度に関しては、2学期以降にかけて、学習委員会の学習態度向上週間などの徹底に向けた組織的な取組によりかなり改善してきた。 ○ 図書館サポーターが勤務する日に国語科との連携で「ポップ（本の広告）」作成や「ブックトーク」等に取り組んだ。本への関心が高まり、図書室利用が増え、貸出冊数が増加した。 ○ タブレット等の操作が、困難な生徒への指導を工夫していく必要がある。 ○ メディアを活用した家庭学習の仕方を家庭・学校間で共通理解していく講習会等を設定し、積極的に推進していく。 ○ キャリア教育の視点に立って進路を意識した指導を強化していく必要がある。（学校支援ボランティアの会やキャリアパスポートの活用を計画的に進める。）
	分かりやすいように工夫	3.6	3.0	3.1				
	それぞれにあった教え方	3.6	3.0	3.0				
	メディアの活用等 家庭学習の課題	3.5	2.7	2.6				
	家庭での学習の仕方	3.5	2.8	2.9				
豊かな心の育成	積極的にあいさつ	3.7	3.4	3.5	3.4	○ 登下校において、明るいあいさつや心優しい心遣いができる生徒は多いが、個人差も大きい。 ○ 言葉遣いに関しては、生徒の95%と保護者の91%がおおむね良好と回答した。自己評価は高いが、時と場に応じた謙譲語を使えないなどの現状が見られる。 ○ 清心清掃に関しては、自己評価は高いが、気づきの清掃がもっと充実するような指導が必要である。 ○ メディア使用上のルールやモラルに関しては、おおむね良好と回答した生徒が95%、保護者が87%だった。メディアコントロール力は育ってきているが、継続した取組が求められる。自転車の転倒によるけがや一旦停止が原因による交通事故などがあった。注意を促す電話も複数あった。 ○ 相手の気持ちや立場を考えて行動するに関しては、おおむね良好と回答した生徒が97%、保護者が92%だった。評価は高いが、一部の生徒への指導は必要である。	○ 朝の会や帰りの会で、「あいさつ運動」や「ボランティア活動」等を呼びかけ、さらに活性化するように日々の指導を確実に行う。 ○ 学校生活の中で、常に、時と場に応じた言葉遣いや呼称の指導など、適切な指導を継続して行う。 ○ 本筋で清掃場所で黙想し、清心清掃に没頭できる雰囲気作りと気づき清掃の徹底に取り組む。 ○ メディア使用上のルールやモラルに関しては、集会等でことあるごとに指導を行っている。さらに危険予知能力の育成を図っていきたい。 ○ メディアリテラシーやSNSの危険性についての学習は、毎年実施し一定の効果はあるが、さらに強化継続する必要がある。	○ 明るいあいさつや優しい心遣いができる生徒は多いが、個人差も大きい。言語環境を整え、人権を考えた交流を大事にしたい。 ○ 交通安全面で、自転車の転倒によるケガや一旦停止が原因による交通事故などがあった。今後も心配な面がある。交通安全教室を徹底していく。 ○ 豊かな心の育成として、メディア・コントロール力は育ってきていているが、まだまだ継続した取組が求められる。油断はできない。 ○ 生徒のメディア等との望ましい関わり方ができるよう、家庭への啓発の仕方を工夫していかたい。 ○ 次年度も生徒の学校生活に関する実態把握と困り感に寄り添う支援を継続してほしい。
	正しい言葉遣い	3.5	3.3	3.4				
	清心清掃	3.4	3.2	3.5				
	社会並びにメディア使用上 ルールやモラル	3.6	3.1	3.5				
	相手の気持ちや立場	3.6	3.2	3.5				
体力の向上	正しい姿勢（立腰）	2.9	2.9	3.3	3.2	○ 正しい姿勢（立腰）に関しては、学期1回立腰指導徹底週間を実施している。その成果もあり、生徒、保護者ともしっかりと指導されていると感じている。 ○ 規則正しい生活に関しては、おおむね良好と回答した生徒が84%に対して保護者は74%と保護者の方が低く、生徒より厳しい見方をしている。 ○ 体力テストの結果から見ると、Tスコア24項目中全国平均を超える生徒が男子がかなり多くなったが、女子生徒の体力に課題がある。1、2年生の体力は向上してきた。 ○ 健康面では、保健室への来室生徒は年々減少傾向にあり、良好である。情報機器の使用時間との相関関係もあり継続した指導が必要である。	○ 正しい姿勢（立腰）を意識するために、授業の始まりと終わりに立腰指導を徹底して行う。 ○ 規則正しい生活に関しては、学級通信や保健だよりで生徒及び保護者に啓発していく。 ○ 体力向上については、さらに継続して体育の授業での導入段階で、基礎トレーニングを行い、筋力アップ・敏捷性アップにつなげ、Aランクを増やしていく。 ○ 部活動については、「キャブテン会」を充実させ、始まりの時間や基礎トレーニングを一斉に取り組ませることで、体力・競技力の向上を図っていく。	○ 外部からみて、生徒の様子が何について伸びているのかよくわからないので、地域の方に生徒の活躍がわかるような工夫がほしい。 ○ 昼休みの屋外活動や体育での体力づくりの成果から「持久力」は向上してきたが、「筋力」や「俊敏性」にはまだ課題がある。また、晴天時は、車での送迎が少なく自転車での登校が多くなった。 ○ 保健面では、保健室への来訪者は昨年度に比べるとかなり少なく良好である。メディアの使用時間との相関関係もあり継続した指導が必要である。
	規則正しい生活	3.4	3.0	3.0				
	体力の向上	3.3	3.0	2.7				
	部活動に積極的	3.6	3.5	3.4				
る地域 人材に の貢 育成す	地域（山田町）に関心	2.8	2.6	2.4	2.9	○ 今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域の行事等が中止となり、参加することができなかった。生徒66%、保護者55%が「地域の関心をもち、深く知る活動に取り組めている。」と回答している。 ○ 3年生の影響もあって、朝のボランティア等に参加できる生徒が増えてきた。また、ボランティアの必要性を感じ取れる生徒は全体的に増えており良い傾向にある。 ○ 総合的な学習の時間に地域との連携として「ランチョンマット」を作成し、施設等に配付した。 ○ 秋田県潟上市との交流事業を令和3年12月16日（木）～18日（土）で実施した。小学生7名、中学生6名、引率8名で訪問した。かなり内容があつて、充実した交流会になった。	○ コロナ禍で状況はわからないが、総合的な学習の時間にボランティア活動に取り組んでおり、校外でのボランティア活動にも参加しやすいので、今後、増えていくよう募集方法を工夫し、啓発を図る。また、全校生徒がボランティア活動に参加できるように工夫・改善を図っていく。地域学習については、3年間で系統的に学んでいくように設定しているが、さらに工夫・改善が必要である。 ○ 通信に返信欄を設け、サインだけでもしてもらい、確実に情報が家庭へ届くようにしていく。 ○ 秋田県潟上市との学校間交流事業を継続し充実させる。次年度は、潟上市から来訪する予定である。	○ ボランティア活動の情報を子どもたちのコメントを載せて、地域には発信すると、さらにボランティア等に参加する生徒が増えるのではないか。 ○ 地域に子どもがいる地区は、「山田いきいき通信」等で情報を得ている。 ○ 山田地区社会福祉協議会の学習支援事業として、10月中旬から3年生放課後学習会の見守り支援をしていただいている。今後も継続した取組を行っていきたい。 ○ 潟上市との交流事業を令和3年12月16日（木）～18日（土）で実施した。来年度は、潟上市から来訪されるので、都城市全体で迎え入れができるように都城市教育委員会と連携を図りながら取り組んでいきたい。
	地域と関わる活動 ボランティア活動等	3.1	2.5	3.1				
	家庭への情報提供	3.5	3.1	2.8				
PTA活動	広報活動		3.3	3.0	3.2	○ ホームページやメール配信は保護者にも好評を得ており、学校の様子や案内文書がより確実に伝わるようになった。さらに充実させていきたい。 ○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参観日等の中止があったが、愛校作業、体育大会、紫峰祭、駅伝・ロードレース大会、学校保健委員会などは規模縮小しての開催となり、参加率は約70%でよかった。 ○ どの項目も90%の保護者が取り組んでいると回答している。	○ 今年度は、ホームページの配信があまりできなかったので、学級通信、学年通信等の発行回数の増加とホームページのメニューの工夫・改善を図り、保護者のPTA活動に対する関心を高める工夫をしていく。 ○ 平日、土、日に関わらず、学校行事への参加率を90%目指していく。また、参観日の日程、学級懇談の内容を工夫し、多くの保護者が出席する手立てを取っていく必要がある。	○ 今年度も新型コロナ感染拡大防止のため、参観日や愛校作業等の中止があったが、体育大会、紫峰祭、立志式、駅伝・ロードレース大会、学校保健委員会などは規模縮小しての開催となり、参加率は約70%でよかった。 ○ ホームページの配信があまりできなかったので、次年度は、ホームページのメニューの工夫・改善を図り、保護者のPTA活動に対する関心を高める工夫をしていきたい。 ○ 今年度はコロナ禍により学校支援ボランティアの会へ協力依頼をすることできなかった。次年度は、学校行事への参加依頼を推進していきたい。
	開かれた学校づくり		3.4	3.4				
	家庭と学校の連携		3.3	3.1				